続源義経（1956）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
時間 86分
初公開日 1956/03/15

【解説】
前年に公開された「源義経」の続編。前作同様、村上元三の同名小説を八尋不二が脚色し萩原遼が監督した。キャストも前作に引き続き、中村錦之助が源義経、月形龍之介が武蔵坊弁慶を演じている
鞍馬寺を出た牛若丸は鏡の宿で自ら元服、源九郎義経を名乗り、奥州平泉の藤原秀衡のもとで新しい生活が始まった。義経はそこで蝦夷の王である赤路具と少女モイヤ、そして陸奥一番の美女といわれる河辺のしのぶたちと出会う。治承四年になると以仁王から「平家を追討せよ」という命令が下り、兄の頼朝は挙兵した。ある日、京都から幼なじみのうつぼが義経に会いにやってきて、二人はその夜、結ばれた。だが頼朝敗走の知らせが来たため、義経は兵を挙げて立ち上がるのだった。

【クレジット】
監督 萩原遼
企画 大森康正
原作 村上元三
脚本 八尋不二
撮影 吉田貞次
美術 川島泰三
音楽 小杉太一郎
出演 中村錦之助
千原しのぶ
山田五十鈴
宇佐美諄
中村歌昇
月形龍之介
竜崎一郎
南原伸二
中村萬之助

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.